

## ① 病児保育事業の充実について

本町の子育て支援は、延長保育事業、一時預かり事業などの取り組みを行い、他市町と比較しても、充実したものになっていると考えている。

また、待機児童問題も極端に少ないと感じており、一定の支援体制は整っていると思っている。しかし、仕事を持つ保護者においては、病児保育施設が整っていないため、仕事と育児の両立が難しいという現状もある。施設、体制を整えることで保護者の負担軽減につながり、仕事をしながらの子育て環境が整備されることで人口増にもつながると考える。

近年の少子化、核家族化、女性の社会進出などの状況を見ると、病児保育は子育て支援の重要な施策であり、また、病気の子どもに必要な看護・保育環境を提供していくことが重要である。本町の医療機関と連携し、ネットワークを組み、病児保育事業体制の充実を図るべきと考え、以下の質問をする。

- (1) 病児保育事業に対する町の考え方を伺う。
- (2) 町立保育園において、体調不良児への対応はどうなっているのか伺う。
- (3) 近隣市町における病児保育の実施状況について伺う。
- (4) 現在、時津町にあった施設が閉鎖されている。今後、導入の考えについて伺う。

## ② 契約・入札のあり方について

地方自治体における公共調達には、財源が税金によって賄われているということから「より良いものでより安いもの」を調達することが原則とされている。しかし、安さを追い求めるがための「ダンピング受注」につながることも懸念されると聞く。

また、すべての契約、入札等に対し、厳しいチェックが必要であることは当然のことである。

本町の契約、入札において、各関係法令に則り、透明性の高い事務の執行がなされていると思うが、確認の意味を込め、質問する。

- (1) 28年度における随意契約の件数、総額はどのくらいか。
- (2) 業者の特定は誰が行っているのか。また、各課の統一したルールはあるのか。
- (3) 物品購入はどのように発注されているのか。
- (4) 契約、入札等に関する情報公開はどこまで、どのように行っているのか。